

令和5年6月30日

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」
第78回（通算第157回）定例会 会議録

- ◆日時：令和5年6月20日（火） PM7：05～8：40
- ◆場所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室
- ◆出席者：26名 + オンライン1名

別紙のとおり

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：05～20：40】

- | | |
|-------------|--|
| 19：05～ | 開 会 |
| 19：05～19：15 | 情報提供
福祉のしごと塾「介護支援専門員受験対策」受講者募集
訪問看護ステーション連絡協議会研修会案内 |
| 19：15～19：55 | 講義
「新型コロナウイルス感染症、5類になったら何が変わる？」
～今後の感染症対策における保健所と地域の連携について～
講師：田辺保健所 和田 圭司氏 |
| 19：55～20：20 | 意見交換 |
| 20：20～20：40 | 発 表 |
| 20：40 | 閉 会 |

【講義内容】

○5類になってからの変化

- ・ 日常における基本的感染対策
 - 個人や事業者の判断が基本
 - 「換気」「手洗い・手指消毒」「マスク着用」などは引き続き有効
 - マスク着用は個人の判断であるが以下の場合には着用を推奨
 - 受診時など医療機関や高齢者施設などを訪問するとき、混雑した電車・バスに乗車するとき、重症化リスクの高い人が感染拡大時に混雑した場所に行くとき
- ・ コロナかも？ どうしらいのか
 - まずは症状や常備薬を確認・・・症状が軽ければ自宅療養。検査キットで検査を検討
 - かかりつけ医に相談（検査料や診断料は基本自己負担、無症状者への検査も自費）
- ・ 陽性者の療養は？
 - 外出自粛の制限はない
 - 感染リスク
 - コロナ発症2日前から発症後7～10日はウイルスを排出。発症後3日間は非常に多く、5日間経過後は大きく減少
 - 外出を控えることが推奨される期間
 - 発症日を0日とし、5日間は外出を控え、かつ症状の軽減後24時間程度は様子を見る
 - 周囲への配慮
 - 10日間を経過するまではマスク着用やハイリスク者との接触を控える
 - 就業について
 - 上記の情報を踏まえて、従事者の就業制限を考慮
- ・ 家族がなった場合は？
 - 濃厚接触としての外出自粛の制限はない
- ・ 和歌山県の相談先：和歌山県コールセンターは現在も設置 073-441-2170

○高齢者施設等における感染症対策

- <日ごろからの感染対策>
 - マスク着用、換気（エアロゾル対策）、
 - 面会・・・面会の機会の減少による心身の健康への影響が懸念されることから、クラスター防止対策は継続しつつ、面会の希望が実現できるよう、再開・推進をお願いしていく
 - <発生した際>
 - サージカルマスク常に着用、ゴーグルやフェイスシールドの使用、手袋とガウンの着用
 - フェイスシールドを使用したほうがいい場面としては、食事介助、口腔ケア、入浴時
 - 面会は可能な範囲で、面会者に個人防護衣の着用を指導したうえで、対面面会、窓越し、ワラインなどの面会を検討
 - ・ 入院調整
 - 5/8の5類移行後、保健所に連絡があり入院調整した事例は1事例。
 - 5/8～6/30：入院が必要と判断した“医師”が入院調整情報シートにて保健所に依頼
 - 7/1～9/30：医療機関で入院調整、不調の場合は保健所に依頼
 - 10/1～：医療機関等で調整
 - ・ 保健所への報告
- 「社会福祉施設等における感染症等発生時にかかる報告について」に基づき報告
- ① 同一の感染症もしくは食中毒によるまたはそれらによると疑われる死亡者または重篤患者が1週間内に2名以上発生した場合
 - ② 同一の感染症もしくは食中毒の患者またはそれらが疑われるものが10名以上または全利用者の半数以上発生した場合
 - ③ ①②に該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

○今後に向けて

- ・ 医療機関や施設の感染対策の方向性として、ガイドラインに沿いつつ効率性も考慮した対応を
- ・ ADL保持のために → 普段通りの生活の保持、医療や介護サービスの継続
- ・ ACP
 - 終末期に向けた今後の医療や介護について、本人や家族とあらかじめ話し合う。
 - 施設で看取りを行う場合は協力医療機関等との事前準備を

【意見交換】

○現場の状況の変化

- ・本人からの救急要請は今もあるが、ちょっと減ったかなという感じ。
陽性者搬送後の救急車、次に使うまで2時間あけてたが、40分になり、いまは消毒のみに。
- ・家族が陽性になったときに、何日間休ませるか考える。
- ・5類になってから、館内消毒が減った。
- ・自己負担になったので、検査をしないケースもある。
→診療所のDrからも、検査をしてくれないので診断や治療ができないとの声も。
- ・透析の人や妊婦の陽性者の調整が大変。
- ・行政では、要介護認定の経過措置がなくなり、調査件数が多くなり忙しくなっている。

○今後について

- ・自分たちでしないといけないことはわかっているが、保健所にもうすこし頼りたい
- ・施設で陽性者が出た場合、抗原キットの配布やPCR検査の実施はしてもらいたい
- ・入院調整がなくなったら、うまくいくのだろうか心配している。
- ・災害が起きた時に、保健所から指示があるのか聞いてみたい。
- ・亡くなったあとの対応をどうすればいいのか。

※定例会開催にあたっての感染症対策

- ・体調確認と必要に応じて非接触型温度計による体温測定
- ・手指消毒・換気
- ・マスク着用
- ・ZOOMを活用したオンライン研修

【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

日時：令和5年7月18日（火） 午後7時～

場所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室

内容：未定